平成25年 1月 1日（火）

チョウ新聞

2013年
1月号 No.1
発行者 3年 石津 咲澪
3年 石津

チョウがとんでくる庭のヒミツ！ 生物や植物を守るため

こん虫が大すき!!

わたしたちは小さいころからこん虫が大すきで家の庭にとんでくるチョウや虫のかんさつを一年生の時からつづけています。

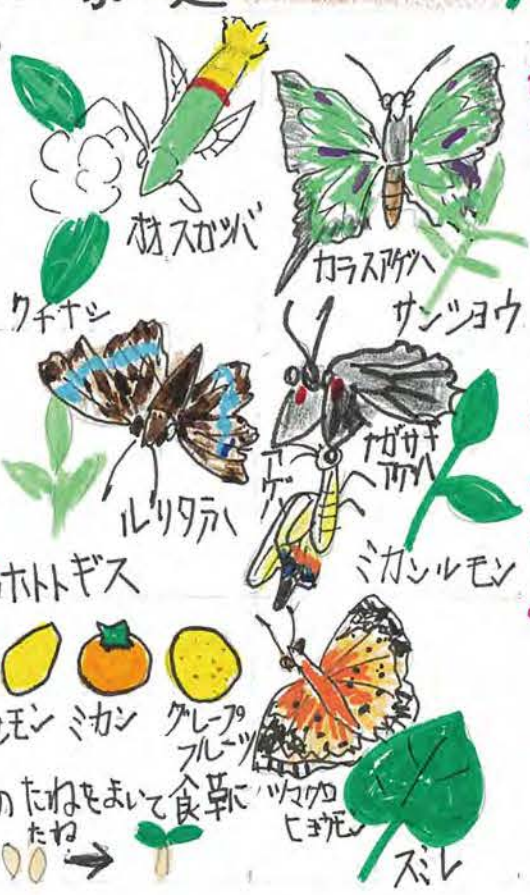
わたしたちの家の庭

いろいろなチョウがとんできます。

花のみつをすいにとんできたりたまごをうんでいきます。（15ぴきくらい）チョウのような虫をねらってカマキリやハチもとんできます。

庭にはチョウがすきな花がいっぱい

食草（ようの虫のエサ）をうえるとかならずとんでくるよ。



農薬は使わない

葉にアブラムシやカイガラムシがつくけれどチョウのよう虫の食べ物なので農薬は使いません。

夏日にとんできた

その年のはじめての夏日（25度）にわたしたち3年生の庭にとんできました。

わたしたちの庭でも見られるようになった

温だん化のえいきょうで北上してわたしたちの庭でも見られるようになりました。

外来ゆのチョウがとんでいるよ。

食草が同じエーキで元々いたゴマダラチョウが追いやられている。

チョウに羽化するのはむずかしい

ハエのお虫

アゲハチョウは200こぐらいのたまごをうみますがチョウに羽化するのは2ひきからいひき。

アリ、鳥、ハチに食べられたりハエにきせいされてしまいます。

去年考えさせられたこと

3月クスノキ（アオスジアゲハの食草のエダが切られて冬ごしのサギ（6ヵ月も）大じょうぶ？

8月五反田川せいそうでざっ草をかってきれいになったがセスジスズメのよう虫がウロウロ

9月近くの空き地のざっ草がかられてトカゲ・バッタ・チョウは大じょうぶ？

まとめ

わたしたちの庭にとんでくるチョウをかんさつしていると生物同しはつながって（チョウのよう虫は葉を食べますがフン、鳥、ハチに食べられ）とてもバランスがとれています。近年わたしたちの生活のへん化（地球温だん化、工業化、農薬の使用、外来しゅの問題など）が自ぜんかんきょうを大きくかえ生たいけいをこわしていることが大きな問題になっています。わたしたちの生活を見直していっしょに生活していきたいです。